

# 平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	経済部商工労働観光課	直通電話	72-3167	事業コード	504040102	課内	22	作成日	平成15年8月14日	
	担当者		奥山直樹		担当課長		加藤秀樹		担当部長	工藤厚志

## 1 事業のアウトライン

1) 事業名	映画等ロケーション誘致促進事業	開始年度	H14	終了年度	未定
		最近の事業内容見直し年度			
2) 総合開発計画での事業体系	施策コード	大項目 / 小項目 / 細項目			
	5040401	観光の振興 / 観光イベントの展開とPR活動の拡充			
	7010101	その他 / その他			
3) 個別計画での位置付け					

## 2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	石狩市の知名度を高め、文化振興や経済効果に繋げる。
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	市内での映画等ロケーションが数多く行なわれるようにする。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	撮影にあたって、市民理解が得られるようにする。 映画等ロケーションを誘致するための組織(フィルムコミッション)を設立する。
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	特になし
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	組織の設立については、全国的に機運が高まってきており、道内においても北海道を始め札幌市、小樽市、紋別市、当別町などで設立している。また、函館市や室蘭市などが設立に向けた準備を行なっている。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	ロケーションの実施については、市民の協力が不可欠である。
7) 評価中間公表への市民意見	なし

## 3 事業に投入した行政資源

項目	H12	H13	H14	H15 予算	H14 事業費の主な内訳	内訳確認
1) 直接事業費(千円)	0	0	414	0	使用料及び賃借料(会場・フィルム代他)	612
2) その他の間接経費(千円)					報償費・旅費	399
3) 従事正職員の人件費(千円)			3,376		消耗品費等	82
総事業費(1~3の合計;千円)			3,790		H14 主な特定財源の内訳	
総事業費中の一般財源(千円)			3,111		道費	679
市民一人当たり一般財源使用額(円)			56			
事務に従事した正職員のべ人数			0.41人			

## 4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法
フォーラム参加者数(人)	目標値		150	0	会場の定員により設定。
	実績値		208		
	達成率		138.7%		
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

## 5 事業の成果

事業名：映画等ロケーション誘致促進事業

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
映画等ロケーションの誘致数(本)	目標値			未設定	3	石狩市域における映画等のロケーション誘致数	ロケ台帳
	実績値			0	目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
348	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

## 6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか	フォーラムの開催に当たっては、予定より多くの申し込みがあり、終了後の監督などとの懇親会にも多数の参加者があった。				
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか	フォーラムの開催を契機に、その後のロケ協力・エキストラ募集等の情報提供にも、市民が積極的な反応を見せており、有効な事業であったといえることができる。				
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か	映像を活用した石狩のPRとそれに伴う観光客等の増加を目的とした本事業は、市の観光振興・経済活性化に向けた一施策であり、市として関与することは妥当である。				
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか	フォーラムへの参加状況その後の反応等を鑑みても、ロケーション誘致に関する市民意識は一定程度高まったといえる。				

## 7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味] A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある	[課長評価]	B	[最終評価]	B (前年度)
	映画等ロケーション誘致のためのフォーラムは、目標を超える大勢の参加者を迎え、映画ロケーション誘致等に対しての市民意識も喚起されたことから有効な事業であったと認識している。		課長評価を了承する。	

## 8 今後の方向性・課題

担当課長評価	現在の市民組織の活動を支援し、育成強化を図っていく。
最終評価	本市の恵まれた自然環境や歴史を活かしたロケーションの誘致を積極的に進めるための市民意識の啓蒙が図られた。また、今後は組織の設立に向けた取り組みが必要と料する。

## 9 平成16年度の方向性

* 担当課長 最終評価	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
上についての説明	休・廃止		